

ほんべつ 議会たより

No.106

2023年(令和5年)
8月1日発行



未来にはばたく笑顔と元気

7月13日 地域おこし協力隊による運動教室(勇足保育所)

発行/北海道本別町議会 編集/広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 



町民の声を町政に

／ 議会報告会・町民懇談会 ／

5月23日、24日の2日間、議会報告会・町民懇談会を4会場で開催しました。今年は4年振り11回目の開催となりましたが、合計29人の町民の方々にご参加いただきました。

各会場でいただいたご意見ご要望は、全議員で対応を協議し、担当課への聞き取りなども行いました。



◆熊の出没情報は、場所を特定した方がよいのでは。

現在は場所を特定したお知らせは、興味本位の見物を避けるため、あえてしていません。周辺の自治会には連絡をしています。(農林課)

暮

ら

し

生活安全推進委員会の意見も聞いた中で設置場所を決めます。(住民課)

●事故の多いところに**防犯カメラ**の設置を。

◆砂利道の**町道**でひどいところがある。一度確認してほしい('A')

農

業

▼飼料や肥料の値段がどんどん上がっている。農業を大事にして、**町の独自対策**を。

●本別町体育館



福祉

◆誰もが住み続けられるようなまちとしては、**障がい者の施設**が全然進んでいないので、高齢者施設と一緒に進めてほしい。

★福祉でまちづくりを掲げているのだから、社協ばかりでなく、町ももっと直接**顔を出して**は。



議会

▼**議会中継**導入により、議場に行かなくても見られるし、後から録画配信もされるので、すごくいい(^o^)
もっとPRを。



●議員の一般質問は建設的な**政策論争**を。

●重箱の隅をつついたり、**批判ばかりの質問**が多い。職員も働く意欲をなくしてしまう(==#

★**議会だより**を町広報に折り込みしてほしい。

★仙美里小学校
の統合が気がり(^^;

現在は保護者、学校、地域の協議の推移を見守っている状況です。
(教育委員会)



町民サービスの向上を課の組織目標として取り組んでいます。
(住民課)

行政

▼職員のアいさつや案内がない。窓口は本別町の顔なので、適切な対応を。

●他町村の良い企画を真似してもいいのでは。そのためにもっと勉強して。

●町立病院だから赤字があるのはしょうがないが、赤字の規模が町財政をつぶす可能性があるのでは。

●病院は最後の砦的な存在。町が責任を持って医療のことを考えて。

●思い切った改革をやってください(‘口’)

●町民が行きやすい病院とするため、町民の意見を真剣に聞くことが大事では。

●院長は病院経営に対してどう思っているのか。方針を聞いたことはあるのか。

令和2年4月20日の国保病院の運営に関する調査特別委員会で、院長より方針説明を受けており、病院ホームページにも掲載されています。(議会事務局)



医

療



観

光

●本別町に温泉を\(^o^)/

◆キャンプ場と駐車場の間の道路で花火や写真を撮ったりして危険。パトロールの強化を。



警察と連携して対応します。
(未来創造課)

教 育

◆インクルーシブ教育（障がいの有無にかかわらず、全ての子どもを受け入れる教育）になっているが、発達支援センターを強化して、グレーゾーンを見逃さないような支援体制を。

報告会の感想、議会・議員への意見

参加者アンケートから

- ・質問や意見に対し、的確に答えられるようにしてほしい。
- ・議員定数の見直しを。
- ・時期がもう少し早いと人も集まったと思う。
- ・議員報酬はなり手の確保につながる魅力ある額に増やすことができればよいのですが。
- ・せっかく町民懇談会を設けているのであれば、国保病院の事、それ以外の事も町民の声をもっと聞いて議会で話し合っしてほしいと思います。
- ・高校生の模擬議会は意義深い取り組みだと感じている。
- ・検討、協議をスピーディに行ってください。

ここに掲載できなかったご意見ご要望につきましては、本別町議会のホームページで掲載しています。

これからも町民の声を大切に、議会・議員活動に生かすよう議員一同取り組んでまいります。



★仙美里地区公民館



第2回定例会

健康促進事業などの

補正予算等を可決

令和5年第2回定例会は6月6日に開会し、各会計補正予算などを審議しました。審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

健康促進事業

問 内容は。

答 個々に合わせたトレーニング指導を行うパーソナルトレーナーによる町内体育施設での出張フィットネスや、本町にゆかりのある料理研究家による町の特産品を使った健康レシピの考案、運動の習慣化のための体力測定等を行います。

これまでの介護予防教室から対象者を広げ、元気に動ける方で介護予防の意識を持って活動できる人を増やしていきます。

ゼロカーボンアドバイザー

問 ゼロカーボンとは、温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量をプラスマイナスゼロにする取り組みを指します。都道府県や市町村で2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明（ゼロカーボンシティ宣言）した地方公共団体が増えつつあります。

問 アドバイザーについての詳細と取り組み内容は。

答 内閣府の人材派遣制度を活用して専門人材を招聘するもので、町民のゼロカーボンの取り組みに対する機運を醸成するた

め、勉強会等の開催やイベントでの啓発を行うほか、令和5年度中のゼロカーボンシティ宣言を目指します。

十勝PRイベント

問 実行委員会を組織し行われるとのことだが、内容は。

答 8月4日にエスコンフィールドHOKK A I D Oで開催されるイベント「じゃつぱり」十勝D a y」で物販と市町村P R ブースを設け、十勝19市町村のP Rを行います。



球場で十勝をPR

当日は、町内の野球少年少女が野球観戦するほか、キッズスターター体験やベイスラッピング体験等に参加します。

消防団員

問 消防団員入団への取り組みは。

答 各分団の団員が若い世代や事業所への声掛けをするほか、広報紙やポスターで団員募集を呼び掛けています。

令和5年8月4日から監査委員になる

井出英彦氏
(新町)

の選任に「同意」しました。

令和5年7月20日から農業委員会委員になる

門前 清隆 氏 (栄 町)	佐藤 光輝 氏 (美里別東中)	井出 和実 氏 (美里別西上)
高橋 秀和 氏 (清 里)	土藏 真哉 氏 (共 栄)	福田 博明 氏 (美 蘭 別)
牧田 安史 氏 (勇足東4)	高 一郎 氏 (追名牛)	牛渡 広和 氏 (活 込)
河野 一紀 氏 (勇足西2)	久常 章司 氏 (勇足西4)	川初 光章 氏 (北5丁目)
中野 康夫 氏 (新 町)	齊藤 一成 氏 (チエトイ2)	前佛由美子 氏 (新 町)

の任命に「同意」しました。

第2回臨時会

令和5年8月5日から固定資産評価審査委員になる

田 中 一 夫 氏
(北3丁目)

の選任(再任)に「同意」しました。

第2回



開催日 4月26日

条例改正

税条例の一部改正

問 改正による納税者への影響は。

答 1例として、個人住民税均等割のうち、復興税として課税されている1,000円が令和5年度でなくなりませんが、森林環境税1,000円が課税されるようになりますので、町民負担に変わりはありません。

第3回



開催日 7月6日

一般会計補正

事業 麦・大豆生産技術向上

問 内容は。

答 土壌診断による土づくりや化学肥料・農薬の低減等に対し、補助を行います。



経費のムダをなくす土づくり

負簾地区町道の整備を求め、申請については11ページをご覧ください。

第3回臨時会

令和5年度各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一 般 会 計	(3億3,190万3千円) 73億7,077万円	物価高騰に伴う低所得者、低所得子育て世帯支援事業のための経費などによる増 (定例会) 補助事業採択による事業実施経費の増額などによる増 (臨時会)
特 別 会 計	(51万6千円) 10億3,897万円	人件費の調整による増 (定例会)
	(△81万円) 10億5,521万円	人事異動等に伴う人件費の調整による減 (定例会)
	(△375万1千円) 3億4,373万4千円	人事異動等に伴う人件費の調整による減および消防設備修繕による増 (定例会)
	(375万9千円) 1億5,074万4千円	人事異動に伴う人件費の調整と委託料の増額による増 (定例会)
	(55万1千円) 5億1,567万8千円	人件費の調整および町債償還利子の増額などによる増 (定例会)
水 道 事 業 会 計	(4万5千円) 2億4,660万2千円	人事異動に伴う人件費の調整による減と委託料および企業債利息の増額による増 (定例会)
病 院 事 業 会 計	(1,659万円) 13億6,083万5千円	人事異動に伴う人件費の調整と寄付金による増 (定例会)

※第2回臨時会(4月26日開催)、第3回臨時会(7月6日開催)含む

町政を問う!

一般質問

6人の議員から7問



行政

ふるさと納税で関係人口増や移住につなげては
答 独自財源の確保を大前提として事業を進めています



阿保静夫議員

阿保議員 ふるさと納税によ
る寄付金は1億円を超える見
込みですが、つながりをさら
に深めるためには居住体験等
来町してもらう返礼も取り組
みではと考えます。

本事業は、初めて寄付をい
ただいた方をリピーターやファ
ンにしていく取り組みなど、
認知拡大の施策であり、移住
に至ったケースはまれです。
関係人口創出は対象層を分
けて、それぞれ必要なアプロー
チをすることが肝要と捉えて
います。あくまでも独自財源
の確保を大前提として事業を
進めています。なお、来町し
てもらったため、町内ホテルな
どを返礼品として取り扱って
います。

佐々木町長 昨年度、ふ
るさと納税の強化を重点
項目に掲げ、新たに専任
職員を配置し事業を進め
てきました。



リピーター増につなげるパンフレット



子育て

子どもの学校給食費の無償化を
答 恒久的な財源確保と無償化を含めた施策の議論が必要



加藤徹己議員

加藤議員 諸物価高騰による
子育て世帯への支援と少子化
対策の一環として、小学生か
ら高校生までの学校給食費を
無償化すべきと考えますが、
見解を伺います。

他町村では学校給食費の無
償化を独自に実施しています。
本町の人口減少は顕著であ
り、少子化と移住促進にも十
分配慮して、高校生までの給
食費の無償化を全国に、明る
い話題として本町から発信し
てはどうか。

高橋教育長 給食費の無償化
は、子育て世代の保護者の経
済的負担軽減と子育て世帯へ
の支援や少子化対策に寄与す
ると考えられます。しかし、
実施には、継続的かつ安定的
な財源確保が必要となります。
教育委員会としても、給食
費の無償化や子育て世帯への
支援などを含め、どのような
施策が有効で優先されるかを
関係団体とも協議することも
に、国の動向や国会での議論
を注視していきたいと考えて
おります。



子育て世帯の負担軽減を

暮らし

**将来を見据えた特養の在り方の検討を
総合的に判断をし、将来を見据えて決定していきます**



宮本やよい議員

宮本議員 特別養護老人ホーム建設に当たっては、町全体の福祉をどうするか、将来を見据えた在り方を検討するべきだと思います。

①計画策定に向けたアンケートでは、在宅で過ごしたいというニーズが半数以上を占めています。町の認識は、
②ベット数を減らさなければ民間企業を圧迫し、介護保険料も高くなり将来の子どもたちに負担を負わせることは明らかですが、町の見解は、
③誰もが社会から孤立・隔離されることのない共生社会を築くことが重要です。**サ高住や共生ホーム**も選択肢の一つとして検討するべきです。



町民の声を新たな特養へ

佐々木町長 ①施設利用と在宅サービスとのバランスを取りながら基盤整備を進めていくことが重要と捉えています。
②ベット数を考慮していく必要があると考えており、運営主体についても、官民どういった形がよいか検討します。
③総合的に判断をしながら、将来を見据えて建設する場所等を決定していきたいと考えています。

**一律現金給付を早期に実施するべきと考えますが
慎重に検討してまいります**



柏崎秀行議員

柏崎議員 さらになる物価、電気料の高騰により、支援策の充実が求められています。
①町の独自支援策として検討している主な事業内容と決定までのプロセスを伺います。

②太陽光発電に対する補助事業を見直し、蓄電池や高効率給湯器の設置、取り替えを事業内容に加え、補助金の拡充を行うことが電気料高騰対策、ゼロカーボンの推進につながるかと考えますが、



太陽光 売るからためるへ

佐々木町長 ①対策は検討中ですが、各担当課から給食費の負担軽減、小売店の販売促進対策、畜産業へ飼料高騰対策などの提案・要望が出ています。決定プロセスとして、JA本別町とは既に協議を進めており、今後は商工会や介護福祉事業者等とも検討を進めます。一律現金給付は、慎重に検討してまいります。
②本年度中に町民への普及啓発と意識醸成を図り、ゼロカーボン事業を推進できるように、協議会の設置を考えています。

サ高住(サービス付き高齢者住宅)、共生ホームとは…

サ高住とは、要介護度がそこまで高くない高齢者が安心して暮らせるよう配慮された住環境と安否確認、生活相談といったサービスを提供している住宅です。共生ホームは高齢者のみならず、地域住民の誰もが集い、多様なサービスや活動で互いを支え合う場です。

ものしり博士から



行政

新たな婚活支援で町の活性化を

答 プライバシーは重要、色々な角度で検討していきます



梅村智秀議員

梅村議員 管内でも人口減少率が高い本町において、人口減を緩やかにし町の活性化を図るためにも定住促進の効果的な対策が必要です。農業後継者のパートナー対策も重要で、交流会などが開催されているが参加者の減少等の課題もあるので新たな形態での支援が必要です。実際や結婚と、

個人の極めて繊細な部分で守秘義務や周囲の目を気にすることなく参加できる環境づくりが必要です。

①町内にはアドバイザーが常駐している結婚相談所があります。システムの利用等の補助や助成を行い、年齢、職業、性別を問わず周りの目を気にせず婚活ができるようにしては。

②お試し住宅なども婚活目的で利用できるようにして、町内の宿泊施設も週末など、短期利用できるようにしては。

佐々木町長 ①プライバシーの配慮は重要で、これから実行委員会で検討、管内金融機関や他町村の取り組みを調査、研究していきたいと考えています。

②規則の改正や滞在時間、色々な角度から検討してまいりたいと考えています。

**陸別・足寄・本別農業青年交流会
ホテル宿泊★水族館や炉端！**

参加費 **5000円** 参加条件
23・53歳位の陸別、足寄、本別在住の農業後継者、経営者男性
20・50歳位の独身女性

イベントスケジュール
14:00 会場集合 (15分前受付開始)
自己紹介
15:00 ホテルチェックイン
水族館に移動 フリータイム
18:00 夕食
20:00 二次会
自由にお過ごしいただけます。

主催 陸別町・足寄町・本別町

交流会を呼び掛けるチラシ

防風林の役割の再確認を

答 営農指導対策協議会の中で協議を進めます



水谷令子議員

水谷議員 防風林がなくなると、強風が原因で起こる被害や町道の保全面が心配です。防風林の役割の再確認と保全対応について伺います。

①十勝では今、農家が所有する耕地防風林が、急激に減少しています。防風林は、風による農作物の被害や肥沃な土壌の流出を防ぐ効果があり、林業、交通、観光、住宅街にも影響があり、防風林の効果の周知を関係機関と取り組む必要があると考えますが、見解は。

②防風林が伐採されると、町道の側面の土が流れる恐れがあり、町道の維持に問題が生じると考えます。町道の保全対応について伺います。

佐々木町長 ①本別町営農指導対策協議会の林山部会には役場、農協、森林組合、その他関係する団体が加盟しており、その中で今後協議を進めてまいります。

②町道維持に問題が発生することは現時点ではないと思いますが、影響を及ぼす場合は、指導や助言など適切な対応をし、道路敷地内の維持管理に努めます。



見ることがめづらしくなった防風林

適切ですか？道路側溝と明渠整備

答 道路パトロールを強化し維持管理に努めてまいります

梅村議員 町が維持管理する道路側溝や明渠について、長年土砂上げなどがされず、大雨時には水があふれ、道路損壊や近隣の農地へ被害を及ぼすなどの現状があります。

農業者、町民が排水整備を申し入れた際、不親切、あたかも自身で費用負担を行わねばならぬような説明や対応を行ったことも確認されています。

また、依頼をしても速やかに対応がなされないため、町民自身の負担で整備を行っている事例も散見され、適切な管理体制が敷かれているとは認めることができません。

パトロールで現況把握、過去に相談があった箇所がきちんと機能しているか予測をし、先回りに対応していく必要がありますが、現状は後手に回っていると捉えています。実状と認識について伺います。

佐々木町長 現場において十分なところもあることは承知しています。適切な管理体制を含め、限られた人員体制ですが、道路パトロールを強化し維持管理に努めてまいります。

災害の被害があった際は、被害規模に応じた適切な補正予算を提案し、随時対応をします。



適切な側溝整備を

請 願

負簾地区町道の整備を求めるとの請願

令和5年3月定例会において、産業厚生常任委員会（石山憲司委員長）に付託された標記請願は、委員会を計7日間開催し、審査を行ってきま

した。

町道負簾西4線は、いまだに未舗装で、特に坂部分は大量の降雨があると敷設した砂利が流され、通行困難となります。また、側溝も道路からの雨水と砂利の流入で道路への逆流や流水処理不能が繰り返されてきました。

今後とも予想を上回る大量の降雨があり得ることから、町道負簾西4線の特に坂部分を優先し、早急に舗装整備するよう求め、請願します。

（請願者 負簾地区町道坂部の整備を求める負簾1期成会 会長 佐藤勝男）

委員会での協議

道路状況等の確認のための

現地調査及び、地域住民との意見交換の実施と、当該町道の負簾2側からの改良舗装工事の進捗状況と令和5年施工予定の当該町道の坂部の側溝整備について町からの聞き取り、現状の坂部の道路舗装の可能性について協議を行いました。

委員会での採決結果(5/31)

採択3人
趣旨採択1人



委員会のまとめ

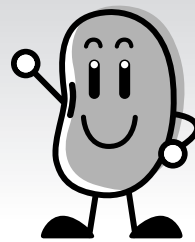
排水側溝工事の速やかな完工と改良舗装工事については設計・測量等、一定の時間が要すると思われるが、法令の範囲内で線形変更以外の方法が考えられないか等、多面的な視点からの検討も考慮し、長年の地域住民の強い要望を踏まえ、早期改良舗装が必要と考え採択としました。

本会議での採決結果(7/6)

賛成11人



追跡




どうなったベ？

その質問

平成30年より始まった一般質問追跡コーナー。議員が行った一般質問が、その後の町政にどのように反映されたのか、お知らせします。


肥料、飼料高騰で可能な支援策を
(令和4年9月定例会議会だより103号掲載)




阿保議員

肥料、飼料の高騰に対し、国からの補てん以外に、町としての支援策は。

国、北海道の支援策が明確になってから、町としての支援策を農協と協議していきたいと考えます。








その後は。

営農資材高騰に対する支援を行いました。


町内で営農する農業者1戸当たり5万円支給などの支援を行いました。





+

📷
😊


全道・全国大会に出場する子どもたちに全額補助を
(令和4年3月定例会議会だより101号掲載)




方川議員

町では、中文連、中体連の全国大会出場は10割、全道大会は8割補助を行っているが、その他各種文化・スポーツの全国・全道大会出場も全額補助をするべきでは。

十勝管内の状況把握に努めるとともに、保護者の負担軽減は子育て支援にもつながるため、補助内容や補助率について前向きに検討します。







その後は。

全道・全国大会は10割補助になりました。

令和4年6月21日に要綱を改正し、それぞれ対象経費の10割補助となりました。



+

📷
😊



3歳児健診で弱視の早期発見を (令和3年12月定例会議会だより100号掲載)



藤田議員

3歳児健診で弱視の早期発見をするため、眼科医でなくても扱うことができる簡易スキャナーを導入するべきでは。

十勝管内の各自治体において導入検討がされています。本町においても適切な時期に予算化し、簡易スキャナーを導入します。



その後は。

スポットビジョンスクリーナーを導入しました。

令和4年11月にスポットビジョンスクリーナーを導入しました。3歳児健診で活用しているほか、年齢を問わず希望や相談があれば使用しています。



物価高対策について (令和4年9月定例会議会だより103号掲載)



柏崎議員

地方創生臨時交付金を活用した物価高対応について、影響を受けるあらゆる方々に対する対策を講ずるべきでは。

町民の皆様からの御意見を拾い上げながら、町民生活の安定を守ることを基本とし、必要な対策を検討します。



その後は。

物価高騰生活応援商品券を配布しました。

令和4年11月下旬に、町内全世帯を対象に生活応援商品券を配布し、3,379万2千円が使われました。



産業厚生常任委員会 特養の建て替えの現在の進捗状況について

4/20

1. 現在までの取り組み

ワーキンググループ（町民より応募のあった10人と健康長寿のまちづくり会議12人）と経営者委員会（町内の介護サービス事業者と町国保病院で構成）で特別養護老人ホーム（以下「特養」という。）の在り方を検討しています。

2. コンサルタントによる分析結果

現在、介護保険施設ベッドが特養50床と老健80床の計130床あり、安定経営のためベッド数を埋めることが、介護保険料が高くなる要因の一つとなっています。

また、建設種別・運営主体・ベッド数別に整備パターンが提案されています。

3. 今後の予定

第8期銀河福祉タウン計画での特養の建て替え計画を1年前倒しして、本年度中に規模



等を決定し、令和8年度供用開始を目指す方向で進めています。

まとめ

特養が「終の棲家」として、本別町民が安心して長くこの地に暮らし続けられるよう、将来の高齢者人口を勘案し、広く町民の声を聞き、また町内介護施設へ十分配慮をして、進めていくことが求められます。

行政報告

第2回定例会（6月6日開催）において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

本別町新型コロナウイルス感染症対策本部の廃止について

新型コロナウイルス感染症対策本部は令和2年2月27日に設置し、国や北海道の対策を踏まえながら、町としても様々な対策を講じてきました。

令和5年5月8日、新型コロナウイルスの法的な位置づけが5類感染症に移行し、国、北海道ともに対策本部が廃止されたことから、本町も同様に対策本部を廃止しました。

今後は、必要に応じて課長等会議を招集し情報共有を行うとともに、新たな感染症危機に面した場合には速やかに初動体制の構築を図ってまいります。

農業次世代人材投資事業交付金の過大交付について

この交付金は、国と北海道から町を経由して交付されるもので、

令和5年3月に2戸の農業者に対して交付した額に誤りがあることが判明しました。

誤りの内容は、対象事業費上限額の4分の3の額が交付されるべきところを全額交付し、結果として1件当たり187万5千円、計375万円を過大交付したものです。本件については、令和5年5月8日に事実が確認されたところでありませんが、その後の対応といたしましては、同日中に電話にてご本人に事実の説明を行い、翌日にそれぞれのご自宅に伺って謝罪するとともに、経過の説明をさせていただき、ご理解を得て全額が返還されておりま

次の定例会は
9月5日 開会
12日 一般質問を
予定しています

写真で見る議員活動

5/20

町民植樹祭（林活議連）



7/4

全道議員研修（札幌市）



7/5

議員視察研修（北広島市：地域サポートセンターともに）



7/12

議会運営委員会視察研修（芽室町議会）



議会用語の解説

《同意》

議会としての意思の決定を議決といいますが、議案の種類によって「可決」「承認」「同意」「認定」「採択」などと呼ばれます。対象となる事項・事柄により、様々な形態があり、人事案件に使用されるのが同意です。

人事案件は、町長が議会の同意を得て選任または任命する人事に関して提出する議案で、主なものに副町長の選任や教育委員の任命などがあります。今年の6月定例会では、農業委員会委員の任命や監査委員の選任、固定資産評価審査委員会委員の選任について審議されました。

議会日誌

〔5月〕



- 11日 産業厚生常任委員会
- 17日 産業厚生常任委員会
- 23日 議会運営委員会、議員協議会、議会報告会・町民懇談会
- 24日 議会報告会・町民懇談会
- 25日 十勝町村議会議長会定例会、十勝活性化推進期成会委員会（帯広市）
- 26日 議会運営委員会、議員協議会
- 31日 産業厚生常任委員会

〔6月〕



- 2日 議会運営委員会
- 6日 第2回定例会開会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 13日 本会議（一般質問）、本別町林活議連総会
- 14日 本会議（議案審議）、広報広聴常任委員会
- 15日～16日 北海道町村議会議長会総会（札幌市）
- 19日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会総会（北見市）
- 20日 議会運営委員会
- 28日 広報広聴常任委員会
- 29日 産業厚生常任委員会、一部事務組合議会、十勝活性化推進期成会役員会・総会（帯広市）

〔7月〕



- 4日～5日 北海道町村議会議長会議員研修会・議員視察研修（札幌市、北広島市）
- 6日 第3回臨時会、議員協議会
- 12日 議会運営委員会視察研修（芽室町、浦幌町）
- 13日 広報広聴常任委員会
- 20日 広報広聴常任委員会
- 25日 北海道町村議会新任議員研修会（釧路市）、十勝林活議連協議会総会等（音更町）
- 27日 総務常任委員会所管事務調査

ユービーふれいこ



棺おけに入るまで勉強

福田博明さん（美蘭別）



今回は美蘭別にお住まいの福田博明さんにお話しを伺いました。

福田さんは学生時代、近くの酪農家に住み込み、朝晩搾乳してから学校に通われるなど、農業の勉強をされていきました。卒業後は海外実習に行きたかった夢もありましたが、親の勧めもあって本別町に戻り、長年にわたって農畜産業に励まれ、農業委員も務められています。

政治は自分事

お父さんが町議会議員であつたこともあり、他人事ではなく自分事と政治に関心を持たれ、「農業など一次産業はダイレクトに国の方針に従う部分もあり、自分たちの経営に大きく関わるので、現場の声を政治に届ける必要がある」との思いを伝えていただきました。

できないではなく、建設的な答弁を

町議会については、ユーチューブで視聴していただいております。「議員はもう少し町民の声を代弁して」「町側はできない理由を遠回しに言っているようにしか聞こえない、もう少し建設的な答弁がほしい」「検討するだけでなく、期日を決めてフィードバックを」など率直なご意見をいただきました。

議会だよりも読んでいただいております。「予算についてももう少し見やすく、文字が多いと読まれない、見てわかるような紙面づくりを」「近年改善されて見やすくなっているのは感じている」とアドバイザーや嬉しいお言葉もいただきました。

稼ぐことを考えて

町政について尋ねると、「お金を稼ぐ事業者が減っており、そこを何とかしないと就労人口も減り、町も衰退してしまう」「稼ぐことを職員も考えて」と語ら

れ、「本別で加工できるところがあれば、就労人口も増え、住んでもらえて、税収も伸びるのでは」と一例を挙げていただきました。また、「福祉は高齢者だけではないので、子どもを含めた福祉の充実を」「子どもにももう少し投資をしてほしいのでは」などの思いも伝えていただきました。

つながりを大切に

福田さんはつながりを大切にしており、東京などの取引先のホテルやレストランなどへ自ら足を運び、会話を通じて、自分自身の仕事の責任と緊張感を感じているそうです。

だからこそ「議員も職員ももっと勉強してチャレンジしてほしい」「もっと人とのネットワーク、つながりをもってほしい」と実体験を含めた貴重なご意見をいただきました。

趣味は仕事

「国や町などが悪いではなく、自ら勉強し、自分で

できることをチャレンジすることができるが大切」「肥料高騰で厳しい状況ではあるけれど、みんなが良くなるようなアイデアを出し合いながら、走り続けたい」と趣味は仕事の福田さん。「棺おけに入るまで勉強」との一言が印象に残りました。終始笑顔で、時折真剣な眼差しで、心に響く多くの言葉をいただいた時間となりました。

今回はお忙しい中、インタビューにご協力いただきありがとうございます。

議会のホームページでは、過去の議会中継や議会だよりをご覧になることができます。



議会中継



議会だより



資源を大切に——
ほんべつ議会だよりは、道産間伐材を使用しています。